

ごあいさつ

理事長

しんや たかのり

新屋 貴憲



日頃より、当組合にお寄せいただきますご支援・ご協力に対し、役職員を代表して心より厚くお礼と感謝を申し上げます。

昨年は、長引くコロナ禍の影響の中、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する原油・原材料価格等の更なる高騰や、加速する少子化・高齢化等による生産年齢や地域人口の減少など、社会・経済環境に起因する課題が山積し、先行きに大きな不安を抱える1年でした。

本年は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと移行されたことにより、規制が緩和され、長崎市では久しぶりに松ヶ枝ふ頭に観光船が寄港しました。観光地は国内外の観光客で賑わうなどコロナ前の姿を取り戻しつつあり、経済の回復再生に大きな期待が寄せられます。当組合は、引き続き地場産業・企業の抱える課題に真摯に向き合い、雇用の安定と就労機会増加に繋がる産業・企業の支援と、勤労生活者の生涯支援に全力で取り組み、地域活力向上の一助となるよう、相互扶助の精神に立脚した協同組織金融機関として一意専心、取り組んで行く所存でございます。

ここに、令和5年3月期の経営概況を「りょうしんの現況2023」として取りまとめましたので、ご高覧のうえより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

金融業界は、日銀の金融緩和政策に則しながらポストコロナ社会での企業や生活者への積極的な支援強化はもちろん、直近の多様化・国際化に向けたサービスや、内部事務の法制対応とデジタル化促進など、課題は山積しています。当組合は変革の途上においても、揺るぎない経営基盤を維持し、組合員の負託にこたえていかなければならないと決意しています。それ故に、コンプライアンス遵守はもとより、高度なガバナンスが重要となり、経営の責任はより重いものとなりますが、協同組織金融機関としてのプライドをもって経営に挑戦してまいりますので、ご支援とご理解のもと、末永いご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げ、ごあいさつと致します。

2023年7月

役員紹介

(2023年7月1日現在)

理事・監事

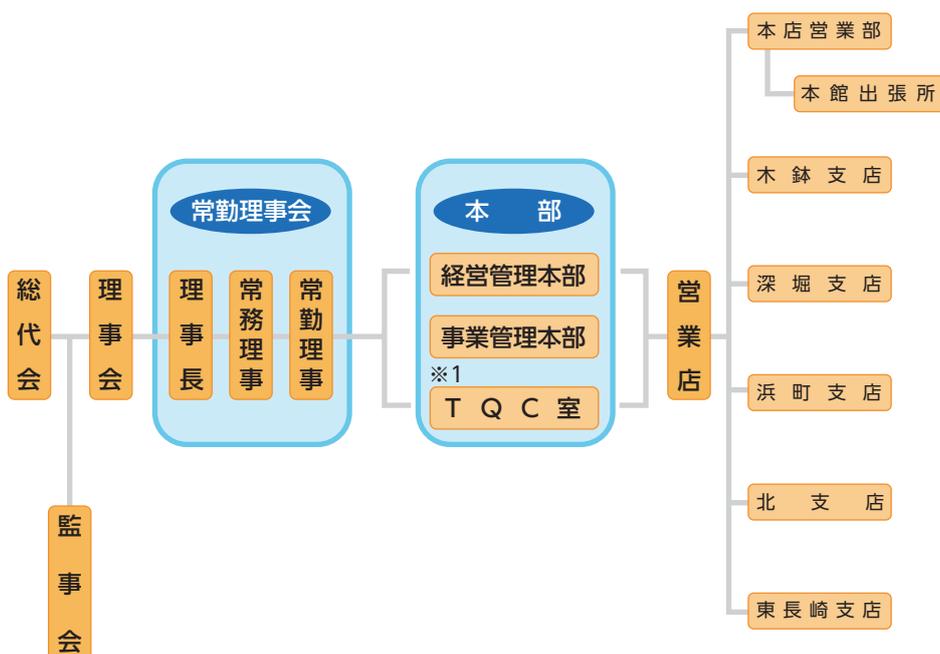


後列左より	理 事	中山哲二郎(※)	理 事	尾崎真太郎(※)	理 事	山口 考司(※)
	理 事	梅原 慎一(※)	理 事	関本 士朗(※)	監 事	林 修治(※)
	監 事	吉満 諭(※)				
前列左より	理 事	寺脇 克典(※)	常務理事	堀 清隆	理 事 長	新屋 貴憲
	常勤理事	永石 浩	常勤監事	吉原富士男		

●当組合は、職員出身者以外の理事(※印)の経営参画により、ガバナンスの向上や組合員の意見の多面的な反映に努めております。

組織図

(2023年7月1日現在)



※1 トータルクオリティーコントロール室